

ダイオキシン測定方法の概要

排ガス中のダイオキシン類を、円筒ろ紙などによるろ過捕集、吸収ビン(インピンジャー)による吸収捕集、吸着カラムによる吸着捕集で捕集し、捕集部から抽出後、クリーンアップしてガスクロマトグラフ質量分析計(GC/MS)で同定、定量する。

試料ガスの採取装置は採取管部、捕集部、吸引ポンプ及び流量測定部で構成する。

採取管部は、排ガス温度に応じてほうけい酸ガラス製又は、透明石英ガラス製を用いる。ダストが捕集される部分の温度を120℃以下に保てない場合は、水冷管を用いた冷却ブローブを使用する。

捕集部は、ガス状又は、ダストに付着しているダイオキシンを効率よく捕集する部分である。フィルター、液体、吸着剤による捕集があり、それらの組み合わせでダイオキシン類を捕集する。

試料ガスの採取操作はJIS Z 8808に準じて、排ガスの温度、流速、圧力、水分量などを測定し、測定点における排ガス流速を計算する。

(JIS K0311より抜粋)

ダイオキシン測定方法の概要図

